



運用報告書（全体版）第17期（2020年1月1日～2020年12月31日）

**バンガード®・インデックス・ファンズ -
バンガード・米国スモールキャップ・バリュー・インデックス・ファンド**
Vanguard Index Funds -
Vanguard Small-Cap Value Index Fund

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト ETF クラス受益証券

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、バンガード・インデックス・ファンズ - バンガード・米国スモールキャップ・バリュー・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第17期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

<ファンドの仕組み>

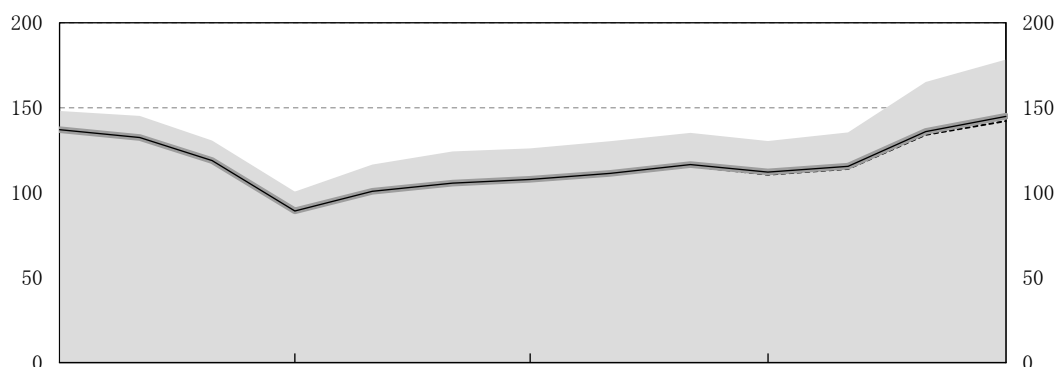
ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、小型バリュー銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。
主要投資対象	下記「運用方法」をご参照ください。
運用方法	ファンドは、米国小型企業のバリュー株の幅広く分散したインデックスであるCRSP US スモールキャップ・バリュー・インデックス(CRSP US Small Cap Value Index)のパフォーマンスへの一致を企図したインデックス投資手法を用います。ファンドはインデックスを構成する株式にその資産の全てまたは実質上全てに投資することにより、目標インデックスを複製しようと試みており、インデックスにおけるウェイトとおおよそ同様の割合で各株式を保有しています。
投資制限	ファンドは、以下の基本的投資方針に従わなくてはなりません。基本的投資方針はファンドの受益証券の過半数にあたる受益者の承諾がなければ、いかなる方法によっても変更することはできません。かかる目的上、「過半数」の受益証券とは、①ファンドの純資産の50%以上に相当する受益証券を有する受益者または委任状を有する代理人が出席した上でのファンドの純資産の67%以上の賛成投票を表象する受益証券、または②ファンドの純資産の50%以上を表象する受益証券のいずれか少ない方をいいます。 (i) 借入れ ファンドは、米国1940年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する米国証券取引委員会(SEC)もしくは他の規

	<p>制当局により許可されている場合に限り、借入れを行うことができます。</p> <p>(ii) コモディティ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、コモディティへの投資を行うことができます。</p> <p>(iii) 分散 ファンドの総資産の 75%について、ファンドは、①いずれか単一発行体の発行済議決権付証券の 10%以上を購入すること、②結果的にファンドの総資産の 5%以上が当該発行体の証券に投資されることとなるような場合に、当該発行体の証券を購入することはできません。本制限は、米国政府またはその機関もしくは下部組織の債務には適用されません。</p> <p>(iv) 同一業種への集中投資 ファンドは、目標とするインデックスの構成に近似させるために必要な場合を除いて、主要な事業活動が同一業種または同一業界の発行者の証券に投資を集中させてはなりません。</p> <p>(v) 投資目的 ファンドの投資目的を、受益者の決議を得ずに大幅に変更することはできません。</p> <p>(vi) 貸付け ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、他の者への貸付けを行うことができます。</p> <p>(vii) 不動産 ファンドは、証券その他の金融商品を保有する結果として取得される場合を除き、不動産に直接投資することはできません。この制限は、ファンドが(1)不動産への投資、取引もしくは別の方法で不動産取引に携わる会社が発行する、または(2)不動産もしくは不動産の持分により裏付けられもしくは担保される、証券その他の金融商品に投資することを妨げません。</p> <p>(viii) 優先証券 ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合を除き、優先証券を発行することはできません。</p> <p>(ix) 引受け ポートフォリオ証券の売買に関連し、ファンドが米国 1933 年証券法上の意味における引受会社とみなされる場合を除き、ファンドは他の発行者の証券の引受会社としての業務を行うことはできません。</p>
<p>分配方針</p>	<p>ファンドは、受益者に対して、純インカム所得(利息および分配から費用を控除した額)および保有する資産の売却によって実現した短期または長期の純キャピタル・ゲインの実質的全額を分配します。ファンドのインカム分配は、通常 3 月、6 月、9 月および 12 月の四半期毎に行われます。キャピタル・ゲインの分配(もしあれば)は通常毎年 12 月に行われます。さらに、ファンドは、随時、追加的な分配を年度の一定時点で行うことがあります。</p>

I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

(1) 運用の経過

① 1口当たり純資産価格の推移等



- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第16期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。
- (注4) ファンドのベンチマークは、スプライスト・スモールキャップ・バリュース・インデックスです。スプライスト・スモールキャップ・バリュース・インデックスとは、2003年5月16日まではS&Pスモールキャップ600バリュース指数(旧S&Pスモールキャップ600/Barraバリュース指数)、2013年4月16日まではMSCI USスモールキャップ・バリュース・インデックス、それ以降はCRSP USスモールキャップ・バリュース・インデックスをいいます。
- (注5) ベンチマークは、第16期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

バンガード・米国スモールキャップ・バリュース・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(ティッカー:VBR)は、「バンガード・米国スモールキャップ・バリュースETF」と称することがあります。また、本書においては、当ファンドの名称を英文アニュアルレポートに記載の英語名称で表記する場合や、ETFクラス受益証券を「ETF受益証券」と表記する場合があります。

2019年12月31日から2020年12月31日までのファンドのパフォーマンス

	期初の価格	期末の価格	1口当たり分配金	
			インカム分配	キャピタルゲイン
ファンド	137.05 米ドル	142.13 米ドル	2.388 米ドル	0.000 米ドル

2020年12月31日に終了する期間までの年間平均トータルリターン

	1年	5年	10年	投資額 10,000 米ドル に対する最終価格
ファンド 純資産価格	5.82%	9.73%	10.07%	26,099 米ドル
ファンド 市場価格	5.91	9.75	10.07	26,094
ベンチマーク	5.75	9.72	10.08	26,131
ダウ・ジョーンズ USト ータル・ストック・マー ケット浮動調整指数	20.79	15.36	13.74	36,240

(注1) トータルリターンは、表示通貨（米ドル）建ての純資産価格に基づき計算されております。

(注2) ETF 受益証券について、市場価格は、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時（通常、米国東部標準時間午後 4 時）の呼値スプレッドの中間値によって決定されます。ファンド総資産の市場価格から負債を控除し、発行済ファンド受益証券口数で除すことにより計算される純資産価格もまた、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時に決定されます。

② 分配金について

当期（2020年1月1日～2020年12月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 （対1口当たり純資産 価格比率 ^(注1) ）	分配金を含む1口当 たり純資産価格の変 動額 ^(注2)
2020年3月10日	108.89	0.3999 0.37%	-27.70
2020年6月25日	104.95	0.4925 0.47%	-3.45
2020年9月25日	108.46	0.6197 0.57%	4.13
2020年12月24日	141.95	0.8762 0.61%	34.37

（注1）「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率（%）＝ $100 \times a / b$

a＝当該分配落日における1口当たり分配金額

b＝当該分配落日における1口当たり純資産価格＋当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

（注2）「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額＝ $b - c$

b＝当該分配落日における1口当たり純資産価格＋当該分配落日における1口当たり分配金額

c＝当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

（注3）2020年3月10日の直前の分配落日（2019年12月24日）における1口当たり純資産価格は、136.99米ドルでした。

③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

- 2020年12月31日に終了した12か月間に、バンガードの米国小型株インデックス・ファンド3つのリターンは Vanguard Small-Cap Value Index Fund のインベスター受益証券の5.72%から Vanguard Small-Cap Growth Index Fund のインスティチュージョナル受益証券の35.51%に及びました。各ファンドは、それぞれのベンチマークに密接に連動しました。
- 2020年初めにおける新型コロナウイルスの出現は、世界的な健康危機に発展し、封じ込めに向けた積極的な試みにより、経済活動は急激に落ち込みました。失業率が急上昇し、ソーシャル・ディスタンス維持が不可能なセクターは、打撃を受けました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて株価は、当初急落しましたが、大幅に上昇して2020年末を迎えました。この上昇は、主に政策担当者による迅速で積極的な金融・財政政策および、年末になって開始した新型コロナウイルスのワクチン接種によるものでした。
- CRSP US トータル・マーケット・インデックスでみた米国株式市場全体のリターンは、20.99%でした。一年間を通してグロース銘柄はバリュー銘柄をアウトパフォームし、大型株が中小型株を上回りました。
- テクノロジーが Vanguard Small-Cap Index Fund および Vanguard Small-Cap Growth Index Fund に最も貢献し、資本財が Vanguard Small-Cap Value Index Fund に最も貢献しました。3ファンド全てが、ヘルスケア関連の保有から恩恵を受けました。金融は、3ファンド全てについて最もリターンが低く、エネルギーおよび公益事業も、3ファンドのリターンの重しとなりました。

* 上記の記述は、Vanguard Small-Cap Index Fund、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund の ETF クラス受益証券を含む全ての受益証券クラスについてのものであります。

(2) 今後の運用方針

ファンドは、小型バリューストックの投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

(3) 費用の明細

項目	項目の概要		注
管理費用	純資産価額の年率 0.06%	管理的性格の業務および 事業運営にかかる業務の 対価	費用の料率は、2021年 4月29日付英文目論 見書に記載された現会 計年度の見込み費用で す。 2020年12月31日に終 了した会計年度におい て、費用料率は合計 0.07%でした。
12b-1 販売費用	なし	該当なし	
その他の費用	0.01%	ファンドが負担したその他 の費用金額	
ファンドの年次 運営費用合計	0.07%		

II. 運用実績

① 純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	百万米ドル	日本円(百万円)	米ドル	日本円
第8会計年度末 (2011年12月末日)	1,755	181,643	62.73	6,493
第9会計年度末 (2012年12月末日)	2,281	236,084	72.60	7,514
第10会計年度末 (2013年12月末日)	3,908	404,478	97.32	10,073
第11会計年度末 (2014年12月末日)	4,874	504,459	105.71	10,941
第12会計年度末 (2015年12月末日)	5,679	587,777	98.81	10,227
第13会計年度末 (2016年12月末日)	10,042	1,039,347	120.95	12,518
第14会計年度末 (2017年12月末日)	12,650	1,309,275	132.71	13,735
第15会計年度末 (2018年12月末日)	11,560	1,196,460	114.05	11,804
第16会計年度末 (2019年12月末日)	14,808	1,532,628	137.05	14,185
第17会計年度末 (2020年12月末日)	17,837	1,846,130	142.13	14,710

(注1) 米ドルの円貨換算は、2020年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=103.50円)によります。

(注2) ETF受益証券の設定日は、2004年1月26日です。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入しているため合計の数字が一致しない場合があります。円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

② 分配の推移

	1口当たり分配金	
	米ドル	日本円
第8会計年度	1.380	143
第9会計年度	1.903	197
第10会計年度	1.818	188
第11会計年度	1.869	193
第12会計年度	1.963	203
第13会計年度	2.138	221
第14会計年度	2.376	246
第15会計年度	2.678	277
第16会計年度	2.824	292
第17会計年度	2.388	247

③ 投資資産(2020年12月末日現在)

下記「IV.ファンドの経理状況」の純資産計算書を参照ください。

III. 純資産計算書

(2020年12月末日)

	千米ドル	日本円(千円)
総資産額 (Vanguard Small-Cap Value Fund 全体)	36,629,078	3,791,109,573
総負債額 (Vanguard Small-Cap Value Fund 全体)	470,099	48,655,247
純資産価額(ファンド)	17,836,711	1,846,099,589
発行済み受益証券総数(ファンド)	125,498,239	口
1口当たり純資産価格(ファンド)	\$142.13	¥14,710

IV. ファンドの経理状況

独立登録会計事務所の監査報告書

Vanguard Index Funds の受託者の理事会、ならびに Vanguard Small-Cap Index Fund、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund の受益者各位

財務諸表に係る意見

私どもは、添付の 2020 年 12 月 31 日現在の Vanguard Small-Cap Index Fund、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund (これらの 3 ファンドは Vanguard Index Funds を構成し、以下総称して「ファンド」という。)の資産・負債計算書(投資明細表を含め)—投資サマリー、2020 年 12 月 31 日に終了した年度の損益計算書、2020 年 12 月 31 日に終了した期間の 2 年間それぞれについての純資産変動計算書(関連注記を含め)、2020 年 12 月 31 日に終了した期間の 5 年間それぞれについての財務ハイライト(以下総称して「財務諸表」という。)を監査した。私どもの意見では、添付の財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して、2020 年 12 月 31 日現在の各ファンドの財政状態、ならびに同日に終了した年度の各ファンドの運用成績、2020 年 12 月 31 日に終了した期間の 2 年間それぞれについての各ファンドの純資産の変動、2020 年 12 月 31 日に終了した期間の 5 年間それぞれについての各ファンドの財務ハイライトをすべての重要な点において、適正に表示している。

監査意見の基礎

財務諸表はファンドの経営陣が責任を負うものである。私どもの責任は、私どもの監査に基づいてファンドの財務諸表について意見を表明することである。私どもは公開企業会計監視委員会(米国)(PCAOB)に登録された監査法人であり、米国連邦証券法および関連規則、ならびに米証券取引委員会および PCAOB の規則に準拠して、ファンドに関して独立であることを義務付けられている。

私どもは、PCAOB の基準に準拠して、これらの財務諸表の監査を実施した。これらの基準は、財務諸表に不正または誤謬による重大な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを求めている。

私どもの監査には、不正または誤謬による財務諸表の重大な虚偽表示リスクを評価するための手続きを実施し、かかるリスクに対処する手続きを実施することが含まれる。かかる手続きには、試査による財務諸表の金額および開示事項を裏付ける証拠の検証が含まれる。私どもの監査にはまた、経営陣が採用した会計原則および経営陣が行った重要な見積りの検討、ならびに財務諸表全体の表示に関する評価も含まれる。私どもの手続きには、カストディアンおよびブローカーに対する書面ならびに名義書換事務代行会社の所有持分の記録との照合による 2020 年 12 月 31 日現在における有価証券の確認も含まれる。ブローカーからの返答が得られない場合は、私どもは別の監査手続きを実施した。私どもの監査が、私どもの意見表明に関する合理的な基礎を与えるものであると確信している。

プライスウォーターハウスクーパースエルエルピー

ペンシルバニア州フィラデルフィア

2021 年 2 月 16 日

私どもは、1975 年以降、The Vanguard Group of Funds の 1 社以上の投資会社の監査人を務めている。

財務諸表

投資明細表—投資サマリー

2020年12月31日現在

この計算書は、ファンドの保有銘柄を資産種類ごとに要約したものである。ファンドの保有上位各 50 銘柄およびいかなる発行体に対しても総額でファンド純資産の 1%以上を占める投資に関しては詳細を報告している。それより小さな保有割合の総額は、各分類内で一つの金額として報告されている。当ファンドは、各会計年度中 4 回にわたり、証券取引委員会（「SEC」）に保有銘柄の完全な明細表を提出している。第 2 四半期と第 4 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストを www.vanguard.com およびフォーム N-CSR から入手することができる。また、800-662-7447 に電話すると無料で郵送してもらうことができる（訳注：日本の受益者については、適用されない。）。各会計年度の第 1 四半期と第 3 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストをフォーム N-PORT の報告書の添付書類として入手することができる。ファンドのフォーム N-CSR およびフォーム N-PORT の報告書は、SEC のウェブサイト (www.sec.gov) で入手することができる。

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
普通株式			
素材			
Mosaic Co.	4,778,126	109,945	0.30%
Scotts Miracle-Gro Co.	546,143	108,759	0.30%
Reliance Steel & Aluminum Co.	892,674	106,898	0.30%
† 素材—その他* ¹		1,748,442	4.84%
		2,074,044	5.74%
一般消費財・サービス			
Tapestry Inc.	3,885,453	120,760	0.33%
L Brands Inc.	3,113,259	115,782	0.32%
Newell Brands Inc.	5,347,101	113,519	0.31%
Service Corp. International	2,297,639	112,814	0.31%
Norwegian Cruise Line Holdings Ltd.* ¹	4,421,476	112,438	0.31%
Williams-Sonoma Inc.	1,074,267	109,403	0.30%
New York Times Co. Class A	2,097,662	108,596	0.30%
† 一般消費財・サービス—その他* ¹		4,887,316	13.53%
		5,680,628	15.71%
生活必需品			
Darling Ingredients Inc.*	2,269,749	130,919	0.36%
Bunge Ltd.	1,858,094	121,854	0.34%
† 生活必需品—その他* ¹		1,115,354	3.08%
		1,368,127	3.78%
エネルギー			
Diamondback Energy Inc.	2,214,225	107,169	0.30%
† エネルギー—その他* ¹		1,210,175	3.34%
		1,317,344	3.64%
金融			
Brown & Brown Inc.	3,377,856	160,144	0.44%
Apollo Global Management Inc. Class A	2,883,600	141,239	0.39%
RenaissanceRe Holdings Ltd.	712,258	118,107	0.33%
LPL Financial Holdings Inc.	1,111,620	115,853	0.32%
Assurant Inc.	822,471	112,037	0.31%

	株数	市場価格* (千米ドル)	純資産に 占める割合
Reinsurance Group of America Inc.	951,509	110,280	0.30%
Comerica Inc.	1,947,312	108,777	0.30%
† 金融—その他* ^{1,2}		6,830,904	18.90%
		7,697,341	21.29%
ヘルスケア			
Molina Healthcare Inc.*	831,185	176,776	0.49%
10X Genomics Inc. Class A*	1,010,172	143,040	0.40%
Mirati Therapeutics Inc.*	633,465	139,134	0.39%
Jazz Pharmaceuticals plc*	741,175	122,331	0.34%
Encompass Health Corp.	1,392,171	115,119	0.32%
STERIS plc	597,126	113,179	0.31%
PerkinElmer Inc.	783,785	112,473	0.31%
Denali Therapeutics Inc.*	1,259,172	105,468	0.29%
† ヘルスケア—その他* ^{1,2}		1,892,526	5.23%
		2,920,046	8.08%
資本財・サービス			
IDEX Corp.	1,060,489	211,250	0.58%
Booz Allen Hamilton Holding Corp. Class A	1,931,988	168,431	0.47%
RPM International Inc.	1,820,127	165,231	0.46%
Howmet Aerospace Inc.	5,464,436	155,955	0.43%
Allegion plc	1,290,196	150,153	0.42%
Quanta Services Inc.	1,946,678	140,200	0.39%
AptarGroup Inc.	905,954	124,016	0.34%
Pentair plc	2,331,290	123,768	0.34%
Carlisle Cos. Inc.	747,468	116,740	0.32%
Sensata Technologies Holding plc*	2,202,049	116,136	0.32%
Owens Corning	1,515,559	114,819	0.32%
AECOM*	2,110,715	105,071	0.29%
† 資本財・サービス—その他* ^{1,3}		5,673,640	15.69%
		7,365,410	20.37%
†その他* ^{2,4}		90	0.00%
不動産			
VICI Properties Inc.	7,519,471	191,747	0.53%
Medical Properties Trust Inc.	7,510,949	163,664	0.45%
Gaming & Leisure Properties Inc.	3,095,654	131,256	0.36%
Omega Healthcare Investors Inc.	3,178,740	115,452	0.32%
Jones Lang LaSalle Inc.*	718,555	106,612	0.30%
† 不動産—その他* ¹		2,500,772	6.92%
		3,209,503	8.88%
テクノロジー			
ON Semiconductor Corp.*	5,763,685	188,645	0.52%
Nuance Communications Inc.*	3,962,235	174,695	0.48%
Leidos Holdings Inc.	996,124	104,713	0.29%
† テクノロジー—その他* ¹		2,024,868	5.60%
		2,492,921	6.89%
†通信サービス* ¹		404,714	1.12%

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合	
公益事業				
Atmos Energy Corp.	1,761,069	168,059	0.46%	
Essential Utilities Inc.	3,435,256	162,453	0.45%	
† 公益事業—その他*		1,276,047	3.53%	
		1,606,559	4.44%	
普通株式総額(取得原価 28,119,202 米ドル)		36,136,727	99.94%	
	クーポン	市場価格・ 口数 (千米ドル)	純資産に 占める割合	
短期現物投資				
マネー・マーケット・ファンド				
Vanguard Market Liquidity Fund ^{5,6}	0.111%	4,108,737	410,873	1.14%
†米国政府および政府機関債 ⁷		1,427	0.00%	
短期現物投資総額(取得原価 412,242 米ドル)		412,300	1.14%	
投資総額(取得原価 28,531,444 米ドル)		36,549,027	101.08%	
その他資産および負債—純額		(390,048)	(1.08%)	
純資産		36,158,979	100.00%	

取得原価の単位は千米ドル。

• 財務諸表の注記 A を参照のこと。

† 保有上位 50 銘柄に含まれず、またいかなる発行体に対しても全体で純資産の 1%以下である有価証券の総額を区分ごとに表示したものである。

* 配当を出さない有価証券を含む。

1 ブローカー・ディーラーへの貸付有価証券の一部を含む。貸付有価証券の時価総額は 357,020,000 米ドルである。

2 有価証券の一部は、重要な観察不能なインプットを用いて評価されている。

3 有価証券の一部は、1933 年証券法のルール 144A に基づき登録を免除されている。これらの証券は登録することなく適格機関投資家に販売することができる。2020 年 12 月 31 日現在、これらの証券の価値合計は 34,605,000 米ドルであり、純資産の 0.1%を占める。

4 「その他」は、ファンドのベンチマークによって分類されていない有価証券を表す。

5 バンガード・ファンドならびにバンガードが管理する一部の信託および口座にのみ利用可能な関連会社のマネー・マーケット・ファンド。提示されているレートは7日間の利回りである。

6 貸付有価証券にかかる受取担保額は 385,122,000 米ドルで、このうち 382,088,000 米ドルを Vanguard Market Liquidity Fund で保有、3,034,000 米ドルを現金で保有している。

7 未決済先物契約の当初証拠金として分別管理された有価証券は 1,427,000 米ドルである。

期末現在未決済のデリバティブ金融商品

先物契約				
(千米ドル)				
	満期	ロング(ショート) 契約数	想定元本	価値および 未実現評価益 (評価損)
買建先物契約				
E-mini ラッセル 2000 指数	2021年3月	534	52,727	283

店頭トータル・リターン・スワップ

参照組織	満期日	カウンター パーティー	想定元本 (千米ドル)	受取 (支払) 変動金利 ¹ (%)	価値および 未実現 評価益 (千米ドル)	価値および 未実現 評価損 (千米ドル)
Alcoa Corp.	9/2/21	BOANA	2,720	(0.153)	160	—
Novavax Inc.	2/2/21	GSI	18,933	(0.153)	—	(2,208)
					160	(2,208)

1 直近の支払日における1か月物米ドル・ロンドン銀行間取引金利(LIBOR)に基づく。変動金利月間受取額／支払額。

1M—1か月物

BOANA—Bank of America, N.A.

GSI—Goldman Sachs International

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

資産・負債計算書

2020年12月31日現在

	金額 (千米ドル)
資産	
投資有価証券、市場価格	
非関連発行体(取得原価 28,120,629 米ドル)	36,138,154
関連発行体(取得原価 410,815 米ドル)	410,873
投資有価証券総額	36,549,027
バンガードへの投資	1,330
現金	14,249
担保差入金－先物契約	1,802
担保差入金－店頭スワップ契約	900
投資有価証券売却未収金	553
未収収益	47,081
受益証券発行未収金	13,976
未実現評価益－店頭スワップ契約	160
資産合計	36,629,078
負債	
投資有価証券購入未払金	11,040
貸付有価証券にかかる担保	385,122
受益証券償還未払金	70,308
バンガードへの未払金	1,376
未払変動証拠金－先物契約	45
未実現評価損－店頭スワップ契約	2,208
負債合計	470,099
純資産	36,158,979

2020年12月31日現在の純資産構成は以下の通りである。

	金額	
	(千米ドル)	(百万円)
払込資本金	31,662,049	3,277,022
分配可能利益(損失)総額	4,496,930	465,432
純資産	36,158,979	3,742,454
インベスター受益証券－純資産		
発行済み受益証券 6,863,187 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	233,891	24,208
1 口当たり純資産価格－インベスター受益証券	\$34.08	¥3,527
ETF 受益証券－純資産		
発行済み受益証券 125,498,239 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	17,836,711	1,846,100
1 口当たり純資産価格－ETF 受益証券	\$142.13	¥14,710
アドミラル受益証券－純資産		
発行済み受益証券 234,391,724 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	14,314,433	1,481,544
1 口当たり純資産価格－アドミラル受益証券	\$61.07	¥6,321
インスティテューショナル受益証券－純資産		
発行済み受益証券 110,558,149 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	3,773,944	390,603
1 口当たり純資産価格－インスティテューショナル受益証券	\$34.14	¥3,533

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

損益計算書

	2020年12月31日に終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)
投資収益		
収益		
配当金	622,667	64,446
利息 ¹	412	43
貸付有価証券、純額	17,124	1,772
収益総額	640,203	66,261
費用		
バンガード・グループ—注記B		
投資顧問サービス	2,226	230
マネジメントおよび管理—インベスター受益証券	340	35
マネジメントおよび管理—ETF 受益証券	7,361	762
マネジメントおよび管理—アドミラル受益証券	6,335	656
マネジメントおよび管理—インスティテューショナル受益証券	1,401	145
マーケティングおよび販売—インベスター受益証券	26	3
マーケティングおよび販売—ETF 受益証券	532	55
マーケティングおよび販売—アドミラル受益証券	662	69
マーケティングおよび販売—インスティテューショナル受益証券	97	10
カストディアン報酬	317	33
監査報酬	42	4
受益者報告—インベスター受益証券	—	—
受益者報告—ETF 受益証券	323	33
受益者報告—アドミラル受益証券	142	15
受益者報告—インスティテューショナル受益証券	66	7
受託者報酬および費用	19	2
費用総額	19,889	2,059
純投資収益	620,314	64,202
純実現利益(損失)		
売却投資有価証券 ^{1,2}	(639,646)	(66,203)
先物契約	3,623	375
スワップ契約	1,663	172
純実現利益(損失)	(634,360)	(65,656)
未実現評価益(評価損)の変動		
投資有価証券 ¹	2,348,756	243,096
先物契約	35	4
スワップ契約	(3,296)	(341)
未実現評価益(評価損)の変動	2,345,495	242,759
運用による純資産の純増加(減少)額	2,331,449	241,305

1 当ファンドの関連会社からの利息収益、純実現利益(損失)および未実現評価益(評価損)の変動は、それぞれ 393,000 米ドル、55,000 米ドルおよび 20,000 米ドルであった。購入および売却は、短期現物投資目的である。

2 現物償還による純利益(損失)1,566,162,000 米ドルが含まれる。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

純資産変動計算書

	2020年12月31日に 終了した年度		2019年12月31日に 終了した年度	
	(千ドル)	(百万円)	(千ドル)	(百万円)
純資産の増加(減少)				
運用				
純投資収益	620,314	64,202	660,205	68,331
純実現利益(損失)	(634,360)	(65,656)	79,349	8,213
未実現評価益(評価損)の変動	2,345,495	242,759	5,267,109	545,146
運用による純資産の純増加(減少)額	2,331,449	241,305	6,006,663	621,690
分配¹				
インベスター受益証券	(3,847)	(398)	(17,224)	(1,783)
ETF 受益証券	(285,203)	(29,519)	(296,491)	(30,687)
アドミラル受益証券	(241,645)	(25,010)	(272,117)	(28,164)
インスティテューショナル受益証券	(63,508)	(6,573)	(75,237)	(7,787)
分配総額	(594,203)	(61,500)	(661,069)	(68,421)
資本持分取引				
インベスター受益証券	(25,540)	(2,643)	(1,486,208)	(153,823)
ETF 受益証券	1,967,955	203,683	877,303	90,801
アドミラル受益証券	(82,929)	(8,583)	1,629,545	168,658
インスティテューショナル受益証券	(39,394)	(4,077)	(69,319)	(7,175)
資本持分取引による純増加(減少)額	1,820,092	188,380	951,321	98,462
増加(減少)総額	3,557,338	368,184	6,296,915	651,731
純資産				
期首	32,601,641	3,374,270	26,304,726	2,722,539
期末	36,158,979	3,742,454	32,601,641	3,374,270

1 一部の前期の数字は、当期の表示に合わせて再分類されている。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

財務諸表注記

Vanguard Small-Cap Value Index Fund は、1940 年投資会社法に基づきオープン・エンド型投資会社すなわちミューチュアル・ファンドとして登録されている。当ファンドは、インベスター受益証券、ETF 受益証券、アドミラル受益証券、インスティテューショナル受益証券の 4 種類のクラスを提供している。受益証券の各クラスの適格基準および最低購入条件は異なり、様々な種類の投資者向けに設計されている。ETF 受益証券は、NYSE Arca に上場されており、ブローカーを通して売買が可能である。新型コロナウイルスの感染拡大に関連した市場の混乱は世界中に影響を与えており、その長期的な影響は不透明である。このような混乱が当ファンドの資産に悪影響を及ぼし、よってファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性がある。

A. 以下の重要な会計方針は、米国の投資会社に適用される一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠している。当ファンドは財務諸表作成の際にこれら会計方針を継続的に適用している。

1. 有価証券の評価: 有価証券は、評価日におけるニューヨーク証券取引所の終値(通常東部時間の午後 4 時)で評価される。持分証券は、各有価証券が取引されている主な市場から取得した直近の売値または公式な終値で評価される。評価日に約定のなかった有価証券は、直近の売買気配値の仲値を用いて評価される。市場取引価格を容易に入手することができない有価証券、あるいはファンドの価格決定時前で有価証券が主に取引されている市場の終了後に生じた事象により価格が大きく影響された有価証券については、受託者の理事会により公正価値を表すとみなされた方法で評価される。Vanguard Market Liquidity Fund に対する投資はファンドの純資産価額で評価されている。短期現物投資は、直近の買値、または(有価証券の価格、利回り、満期および格付等の要素を考慮した)マトリクス・システムの評価に基づき評価される。どちらの評価方法も、独立した価格提供者により提供されている。
2. 先物契約: 当ファンドは、一定の範囲内において、指数先物契約を活用する。これは、株式市場に対する十分なエクスポージャーを維持し、流動性を維持し、取引費用を最小化するという目的のために行われる。当ファンドは、流入資金を市場に迅速に投資するために先物契約を購入したり、資金流出への対応として先物を売却したりすることがある。これによって、流動性確保のために現金残高を維持しながら、基準とするインデックスに対し十分な投資ポジションを擬似的に持つことができる。先物契約を利用することに伴う主要なリスクは、ファンドが保有する株式の市場価格の変動と先物契約の価格との間で不完全な相関関係が生じることであり、また市場が非流動的になる可能性である。先物に伴うカウンターパーティー・リスクは、決済ブローカーではなく規制された決済機関がカウンターパーティーであるために緩和される。さらにカウンターパーティー・リスクを緩和するために、当ファンドは取引所で先物契約を取引し、決済ブローカーや決済機関の財務の健全性を監視し、決済ブローカーと決済契約を締結している。決済機関は、当ファンドの履行の保証のために当初証拠金を課し、各契約の市場価格の変動を表す変動証拠金を毎日決済することを義務付けている。未決済契約について当初証拠金として差し入れられている有価証券は、投資明細表において注記されている。先物契約は、日次の決済引値で評価される。契約の想定元本は、資産・負債計算書上に記載されない。契約価値の変動は、契約終了時に先物契約の実現利益(損失)として計上されるまでは、資産・負債計算書上で資産(負債)として計上され、損益計算書上では未実現評価益(評価損)として計上される。2020 年 12 月 31 日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の想定元本の平均によれば、ファンドの買建て、売建ての先物契約への投資は平均して、それぞれ純資産の 1%未満および 0%であった。

3. スワップ契約: 当ファンドはファンドの目標指数に含まれる選定された参照銘柄について、トータルリターンを得るために株式スワップ契約を締結している。スワップ契約の条件に基づき、当ファンドは規定された期間にわたって、選定された参照銘柄の指定された株数の、当該株式スワップの開始時点の価値である想定元本に適用される当該参照銘柄にかかるトータルリターンを受け取る(すなわち、選定された参照銘柄の価値の増加を受け取り、価値の減少を支払うことに加えて、当該選定された参照銘柄の配当相当額を受け取る)。当ファンドは、また、短期金利に基づいた変動金利を想定元本に適用した利息を支払う。同時に、当ファンドはスワップの想定元本に概ね等しい額を高格付の短期現物投資に投資する。
すべての種類のスワップに伴うリスクは、カウンターパーティーが当ファンドに対して正味金額を支払う義務の履行を怠る可能性である。当ファンドの、カウンターパーティー・リスクの対象となる最大金額は、当該スワップ契約にかかる未実現評価益である。当ファンドは、スワップ契約を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループとのみ行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター・ネットィング・アグリーメントを締結し、カウンターパーティーにその契約履行を保証するための担保の差入れを求めることで、カウンターパーティー・リスクを軽減している。債務不履行がない場合、ファンドが差し入れたあるいは受け入れた担保は、再担保、転売または二重担保とすることはできない。カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは当該カウンターパーティーとのあらゆるスワップ契約を終了し、マスター・ネットィング・アグリーメントに従っていずれかの当事者の未払債務金額を決定し、マスター・ネットィング・アグリーメントに基づいて、当ファンドに対する未払いの純額を上限に、保有する担保を売却するか留保することができる。スワップ契約には、当ファンドの純資産が一定水準を下回った場合に、カウンターパーティーが未決済契約を解約することを認め、解約時に当ファンドが純負債ポジションにあった場合にファンドによる支払いを引き起こす条項が含まれている。この支払額は、当ファンドが差し入れている担保の部分だけ減額されることになる。未決済契約について担保として差し入れられている有価証券は、投資明細表において注記されている。授受された担保の評価額は、各カウンターパーティーとのスワップ契約エクスポージャーの額と日次で比較され、差異が規定されている最低授受額を超過した場合、調整が行われ、2 営業日以内に決済される。
スワップ契約の想定元本は、資産・負債計算書上に記載されない。スワップは、独立した価格提供業者または一般に認められているディーラーより提供される市場相場に基づいて日次で評価され、価値の変動は、資産・負債計算書上に資産(負債)として計上される。また、損益計算書上、定期的な支払いが行われるまで、またはスワップが終了するまでは未実現評価益(評価損)として、終了時には実現利益(損失)として計上される。
2020 年 12 月 31 日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の想定元本の平均によれば、当ファンドのトータル・リターン・スワップ投資の平均金額は、純資産の 1%未満であった。
4. 連邦所得税: 当ファンドは、規制投資会社としての資格を有し、すべての課税所得を分配することを意図している。当ファンドの税務申告書は、適用される時効まで関連税務当局より審査を受けることがある。時効は、通常、税務申告書の提出から 3 年間である。経営陣は、未確定のすべての課税年度の連邦および州所得税の申告に関して当ファンドの税務ポジションを分析し、当ファンドの財務諸表に所得税引当の必要はないとの結論に達した。
5. 分配: 受益者に対する分配は、配当落ち日に記録される。分配金額は会計年度末時点の税法基準によって決定されるため、財務報告目的の純投資収益および実現キャピタルゲインとは異なる可能性がある。

6. 貸付有価証券: 当ファンドは、追加収益を得るために、適格機関投資家に有価証券を貸し付ける。有価証券の貸付は、随時ファンドによる解約が可能で、貸し付けられた有価証券の市場価格と少なくとも同等の金額の担保によって常に保全されることが求められる。日々の市場の変動により、貸付有価証券の価値が受け取った担保金額を上回ったり下回ったりすることになる。この場合、担保は調整され、翌営業日の取引開始前に決済される。当ファンドは、証券貸付取引を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループとのみ行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター証券貸付契約を締結することで、カウンターパーティー・リスクをさらに緩和している。マスター証券貸付契約に基づき、カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは借り手との融資を終了し、未払金額を決定し、当ファンドに対する未払いの純額を上限に担保を売却するか留保することができる。ただし、かかる行為は法的手続の対象となる可能性がある。担保はカウンターパーティー・リスクを緩和するが、債務不履行が生じた場合、当ファンドには貸付証券の回収において遅延や費用が生じることがある。当ファンドは、有価証券貸付期間中、受領した現金担保を Vanguard Market Liquidity Fund に投資し、担保の返済について資産・負債計算書上に負債を計上している。Vanguard Market Liquidity Fund に対する担保投資は、相場の上昇、下落による影響を受ける。貸付有価証券による収益は、借手に請求される手数料および現金担保による収益から貸付関連費用を控除したものを表している。貸付期間中、ファンドは貸し付けた有価証券に対してまたは関連して行われたすべての分配金に対して権利を有する。
7. 借入枠およびファンド間貸借制度: 当ファンドおよびバンガード・グループ(「バンガード」)が管理する特定のその他のファンドは、シンジケート団が与信契約に従って提供する 43 億米ドルのコミットメント・ラインおよびバンガードが提供する非コミットメント・ラインに参加している。いずれの借入枠も毎年更新することができる。当該借入枠の下で借入を行った場合は、各ファンドはその借入に対して個別に責任を負う。借入は、一時的資金または緊急時資金の調達目的に利用される場合があり、当ファンドの規制上および契約による借入の制約を受ける。コミットメント・ラインに関して、借入枠に参加するファンドに対しては、管理手数料および借入枠の未使用額の 0.10% に相当する年間コミットメント・フィーが賦課され、これらの手数料は、ファンドの受託者の理事会が承認した方法でファンドに配分され、ファンドの損益計算書のマネジメントおよび管理費用に含まれる。この借入枠の下での借入には、1 か月物のロンドン銀行間取引金利(または必要であれば、認められた代替金利)、実効フェデラルファンド金利または翌日物銀行調達金利のいずれか高い方に、合意されたスプレッドを上乗せした金利が適用される。ただし、非コミットメント・ラインの下での借入は、当ファンドとバンガードが合意した代替金利に基づいた金利が適用されることがある。
- SEC からの適用除外命令(「命令」)に従い、当ファンドは共同貸借制度に参加することがある。この制度により、登録済みオープン・エンド型のバンガード・ファンドは、命令の条件に従い、また当ファンドの投資目標および投資方針によって認められる限りにおいて、一時的資金または緊急時資金の調達目的で、互いに資金の借入、貸付を行うことができる(「ファンド間貸借制度」)。通常、ファンド間貸借の期限は翌日だが、最長 7 日間まで可能である。貸付金は同営業日の通知で、返済を求めることができる。金利は命令の条件、および受託者の理事会が承認した内部手続きに基づいて課される。受託者の理事会は、ファンド間貸借制度の監督責任を負っている。
- 2020 年 12 月 31 日に終了した会計年度において、当ファンドは借入枠およびファンド間貸借制度を利用しなかった。

8. その他:配当金収益は、配当落ち日に計上される。配当金収益に含まれている非現金配当がある場合、受領した有価証券の公正価値で計上される。利息収益は、Vanguard Market Liquidity Fund から受領した利益分配を含み、日次で計上される。負債証券のプレミアムとディスカウントは、個々の証券の残存年数にわたり、それぞれ利息収益について償却および増額の処理を行う。ただし、直近の繰上償還日に償却される特定のコーラブル負債証券のプレミアムは除く。有価証券取引は、有価証券が売買された日に会計処理される。投資有価証券の売却にかかる実現利益(損失)を決定するために用いられる原価は、売却された個別有価証券の原価である。
- 各クラスの受益証券は、資産および利益に対して同等の権利を有する。ただし、各クラスは別々に、受益者口座の維持(マネジメントおよび管理費用に含まれる)および受益者報告にかかる一定のクラス固有の費用を負担する。マーケティングおよび販売費用は、受託者の理事会が承認した方法に基づいて受益証券の各クラスに配分される。収益、その他特定のクラスに帰属しない費用、投資にかかる損益は、相対的な純資産額に基づいて受益証券の各クラスに配分される。
- B. バンガードとファンドの間のファンド・サービス契約(「FSA」)の条件に従い、バンガードはファンドに投資顧問、コーポレート・マネジメント、管理、マーケティングおよび販売サービスを FSA における定義に従ったバンガードの運営実費で提供している。こうした運営実費は、受託者の理事会が承認した方法および指針に基づきファンドに賦課され、通常、月 2 回決済される。バンガードからの要請に応じて、ファンドは純資産の 0.40%までバンガードの資本に投資することができる。2020 年 12 月 31 日現在、当ファンドはバンガードの資本に対して 1,330,000 米ドル拠出しており、この額は当ファンドの純資産の 0.01%未満および FSA に従って受領したバンガードの資本の 0.53%に相当する。当ファンドの受託者および役員は、それぞれバンガードの取締役および従業員も兼務している。
- C. 様々なインプットを用いて当ファンドの投資有価証券およびデリバティブの価値を決定することがある。こうしたインプットは、財務諸表目的において広く 3 つの階層に要約される。有価証券を評価するのに使われるインプットまたは手法が、必ずしもこうした証券への投資に伴うリスクを表すわけではない。
- レベル 1— 活発な市場での同一の有価証券の取引価格
- レベル 2— その他重要な観察可能なインプット(類似する有価証券の取引価格、金利、期限前償還率、信用リスクを含む)
- レベル 3— 重要な観察不能なインプット(投資の公正価値を決定する際に用いられるファンド独自の仮定を含む)。重要な観察不能なインプットで評価されている投資およびデリバティブは、投資明細表において記載されている。

以下の表は、2020年12月31日現在の当ファンドの投資有価証券およびデリバティブの市場価格を、評価に用いたインプットに基づき要約したものである。

(千米ドル)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券				
資産				
普通株式	36,136,630	—	97	36,136,727
短期現物投資	410,873	1,427	—	412,300
合計	36,547,503	1,427	97	36,549,027
デリバティブ金融商品				
資産				
スワップ契約	—	160	—	160
負債				
先物契約 ¹	45	—	—	45
スワップ契約	—	2,208	—	2,208
合計	45	2,208	—	2,253

¹ 報告期間の最終日の変動証拠金を示している。

- D. 純資産の簿価ベースと税務ベースの構成要素の永久差異は、税務上の性質を反映して財務諸表において資本勘定間で再分類される。これらの再分類は、純資産または1口あたり純資産に影響を及ぼさない。期末現在、主に現物償還、受動的外国投資会社、およびスワップ契約の会計を要因とする永久差異は、以下の勘定間で再分類されている。

(千米ドル)

	金額
払込資本金	1,567,731
分配可能利益(損失)総額	(1,567,731)

分配可能利益(損失)総額の簿価ベースと税務ベースの構成要素の一時的差異は、収益、利益または損失の特定の項目が、財務諸表目的と税務目的において異なる期間に認識される場合に発生する。したがって、これらの一時的差異は、将来のいずれかの時期に解消される。差異は、主に値洗いにおける損失の繰り延べ、一部のデリバティブ契約における未実現利益または損失の認識、受動的外国投資会社の未実現利益の認識、ならびに税務上の有価証券の分類に関連する。期末現在、分配可能利益(損失)総額の税務ベースの構成要素は以下のとおりである。

(千米ドル)

	金額
未分配の通常所得	12,887
未分配の長期利益	—
繰越キャピタルロス	(3,492,784)
適格年末損失	—
純未実現利益(損失)	7,976,827

支払われた分配金の税務上の特徴は以下のとおりである。

(千米ドル)

	金額	
	2020年 12月31日に 終了した年度	2019年 12月31日に 終了した年度
通常所得*	594,203	661,069
長期キャピタルゲイン	—	—
合計	594,203	661,069

* もしあれば、短期キャピタルゲインを含む。

2020年12月31日現在、投資有価証券およびデリバティブの米連邦所得税目的の原価に基づく未実現評価益(評価損)の総額は、以下のとおりであった。

(千米ドル)

	金額
税務上の原価	28,572,200
未実現評価益総額	10,186,288
未実現評価損総額	(2,209,461)
純未実現評価益(評価損)	7,976,827

- E. 2020年12月31日に終了した年度中に、当ファンドが購入した短期現物投資以外の投資有価証券は12,773,888,000米ドル、売却額は10,692,451,000米ドルである。購入および売却には、ファンドの資本持分の現物による購入および償還のそれぞれ、4,298,237,000米ドルおよび3,246,604,000米ドルが含まれる。
- ファンドは、他のバンガード・ファンドまたはバンガードもしくはその関連会社が運用する口座との間で、1940年投資会社法の規則17a-7に準拠して受託会社の理事会が採択した手続きに従って、有価証券の売買を行った。2020年12月31日に終了した年度のかかる購入および売却は、それぞれ4,764,190,000米ドルおよび1,260,978,000米ドルであり、これらの金額は、短期現物投資を除き、上記の投資有価証券の購入および売却の金額に含まれている。

F. 受益証券の各クラスの資本持分取引は、以下のとおりであった。

	2020年12月31日に 終了した年度		2019年12月31日に 終了した年度	
	金額 (千米ドル)	口数 (千口)	金額 (千米ドル)	口数 (千口)
インベスター受益証券				
発行	19,233	700	301,775	9,608
現金分配に代えて発行	3,847	138	16,430	533
買戻し ¹	(48,620)	(1,724)	(1,804,413)	(57,280)
純増加(減少)額—インベスター受益証券	(25,540)	(886)	(1,486,208)	(47,139)
ETF 受益証券				
発行	4,997,914	43,220	3,694,906	28,401
現金分配に代えて発行	—	—	—	—
買戻し	3,029,959	(25,775)	(2,817,603)	(21,700)
純増加(減少)額—ETF 受益証券	1,967,955	17,445	877,303	6,701
アドミラル受益証券				
発行 ¹	3,197,023	67,416	3,509,475	62,730
現金分配に代えて発行	210,169	4,208	240,084	4,252
買戻し	3,490,121	(73,393)	(2,120,014)	(38,287)
純増加(減少)額—アドミラル受益証券	(82,929)	(1,769)	1,629,545	28,695
インスティテューショナル受益証券				
発行	884,087	33,455	867,066	28,137
現金分配に代えて発行	57,484	2,056	68,539	2,175
買戻し	(980,965)	(35,290)	(1,004,924)	(32,296)
純増加(減少)額—インスティテューショナル受益証券	(39,394)	221	(69,319)	(1,984)

1 2018年11月、当ファンドはインベスター受益証券およびアドミラル受益証券の購入可能度ならびに最低購入基準の変更を発表した。その結果、すべての発行済みインベスター受益証券は、2019年4月から自動的にアドミラル受益証券に転換された。ただし、バンガード・ファンドおよび一部の他の機関投資家の保有分を除く。2019年12月31日に終了した年度の転換によるインベスター受益証券の買戻し、アドミラル受益証券の発行は、それぞれ44,669,000口、24,926,000口で、金額は1,357,764,000米ドルであった。

G. 経営陣は、当財務諸表で認識または開示しなければならない、2020年12月31日以降に生じた事象または取引はないと判断した。